

痛みに関する筋整流法の施術効果のエビデンス

【評価体制】

筋整流法のセミナー・施術会において行われる施術の際、お客様には「痛みに関する問診票」の配布を行い、施術後の痛みに関する評価とご意見をいただいています。

評価は **Support Team Assessment Schedule 日本語版 (STAS-J* 1)** でも用いられている評価方法を採用しています。この評価により、症状への対処方法と必要性についての評価をすることができます。また、施術後の改善比較にも用いられます。

その他、痛みの詳細についてはボディチャートに痛みの部位を記録してもらい、痺れについても3段階の評価をもらいます。

筋整流法の表記	評価内容 (STAS-J)
1 全然ない	0 なし
2 軽い痛み	1 時折のまたは断続的な単一の痛みで、患者が今以上の治療を必要としない痛みである。
3 中程度の痛み	2 中等度の痛み。時に調子の悪い日もある。痛みのため、病状からみると可能なはずの日常生活動作に支障を来す。
4 強い痛み	3 しばしばひどい症状がある。痛みによって日常生活動作や物事への集中力に著しく支障を来す。
5 非常に強い痛み	4 持続的な耐えられない激しい痛み。他のことを考えることができない。

* 1 : STAS-J

英国で開発された評価尺度 (**Support Team Assessment Schedule ; STAS**) の日本語版。「痛みのコントロール」「患者の不安」などの9項目を医療者が0～4の5段階で評価する。

【痛みの部位】

セミナー・施術会に集まったお客様は、どこかに痛みや痺れなどの身体に不都合を抱えているお客様が多数を占めています。主訴の痛みは一カ所でなく多岐に渡るため、痛みの部位や程度などについては「痛みに関する問診票」に記入頂いています。施術後に痛みや痺れの程度を記入いただき、評価を得ています。

主訴の部位の特定については、**STAS-J** に準拠した痛みの評価のよる5段階評価を参考にしています。部位は複数回答方式としているため、その中でも最強段階をつけた複数個所についても主訴と考え、部位の特定に縛られることなく、原因・痛みの種類など施術の参考になりうることに關しては、口頭で確認を行っています。

また、施術を受ける際のボディバランスについても施術の場所への移動、横になる動作など短い時間で視覚確認を行っています。このように「痛みに関する問診票」を中心に視覚・聴取診断を交えて施術の参考としています。

それにより、お客様の生活様式を図り知ることができ、痛みの軽減についての細かな施術方法・予防法などについても創造が可能となっています。

表 1. 1030名の施術希望者が痛みを訴えている部位(痛みの段階評価・左右評価なし)

順位	部位名	問題部位	率	順位	部位名	問題部位	率
1	腰	769名	74.7%	7	頭	316名	30.7%
2	肩	697名	67.7%	8	腕	279名	27.1%
3	首	634名	61.6%	9	足首	267名	25.9%
4	背中	487名	47.3%	10	大腿部	252名	24.5%
5	ひざ	424名	41.2%	11	手首	235名	22.8%
6	臀部	317名	30.8%	12	足裏	217名	21.1%
				13	ひじ	180名	17.5%

表1をみると施術を希望される方の痛み・痺れに関する問題部位は、「日本人で問題を抱えている方の60%以上が腰・肩・首である」と言われていた今までの一般的見解と一致していました。その中でも腰については74.7%と3/4を占め、国民的な病気の部位という位置づけで間違いがないと思います。

ここでは、問題部位の痛みに対する程度分類・左右評価は行っていないので、問題のある部位の配分として傾向を捉えています。

「改善」について以下のような表現を採用しています。

施術前/施術後	5.非常に強い	4.強い	3.中程度	2.軽度	1.なし
5.非常に強い	変化なし	軽微な改善	中程度の改善	急激な改善	劇的な改善
4.強い	悪化弱	変化なし	軽微な改善	中程度の改善	急激な改善
3.中程度	悪化中	悪化弱	変化なし	軽微な改善	中程度の改善
2.軽度	悪化強	悪化中	悪化弱	変化なし	軽微な改善

【施術効果】

施術後の痛みの評価		5.非常に強い	4.強い	3.中程度	2.軽度	1.なし
部 位	人数	変化なし	軽微な改善	中程度の改善	急激な改善	劇的な改善
頭	12名	0.00%	0.00%	8.30%	16.70%	75.00%
首	23名	0.00%	4.30%	17.40%	39.10%	39.10%
肩	36名	0.00%	2.80%	16.70%	38.90%	41.70%
腕	8名	0.00%	12.50%	25.00%	12.50%	50.00%
ひじ	5名	0.00%	20.00%	20.00%	20.00%	40.00%
手首	10名	0.00%	20.00%	20.00%	20.00%	40.00%
背中	15名	0.00%	0.00%	13.30%	20.00%	66.70%
腰	39名	0.00%	7.70%	38.50%	33.30%	20.50%
臀部	13名	0.00%	0.00%	38.50%	23.10%	38.50%
大腿部	12名	0.00%	8.30%	16.70%	41.70%	33.30%
ひざ	22名	4.50%	4.50%	18.20%	50.00%	22.70%
足首	8名	12.50%	0.00%	25.00%	25.00%	37.50%
足裏	7名	0.00%	0.00%	28.60%	14.30%	57.10%

この軽い痛みレベルを除外

	対象数	完治的改善	改善	合計
激しい痛み	210名	82名	126名	208名
強い痛み	849名	396名	443名	839名
中程度の痛み	1741名	1101名	603名	1704名
合 計	2800名	1579名	1172名	2751名
		56.40%	41.90%	98.30%

人体の生理反応や施術の効果には再現性は必ずしも認められず、同じ施術でもお客様によって結果は異なります。しかし、目の前のお客様にとって最良の結果をもたらすために痛みの評価に基づいた診断を行い、基本施術を中心とした全身の血流を中心とした体液全般の流れを整え、特定部位に対する個別的な施術方法を選択することによって改善に向けた一歩が踏み出されます。

基本施術における効果は、唾液アミラーゼ検出検査、血液検査により、リラックス状態になることが証明されています。5分～10分という短時間の施術によってそれが出現し、維持されることから筋整流法の基本施術の効果は疑う余地のないものだと確信しています。リラックス状態になれば、身体全体の流れが整うと考えられます。

【検査結果】

唾液アミラーゼ値の比較で4名が低水準を維持できない現象になっていますが、この4名は注射嫌いであり、採血によるストレスが現われたと思います。

グラフ1. 施術後の唾液アミラーゼ値の比較



